

取扱説明書 / 保証書

地上デジタルワンセグTVチューナー

DTM500

お買い上げいただきまことにありがとうございます。本書には取付け及び操作方法が説明されております。正しくご使用いただく為に本書をよくお読みのうえでご使用ください。お読みになった後は大切に保管してください。

目次

●ご使用上の注意	
・警告	2
・注意	3
・デジタル放送について(ワンセグ放送)	3/4
・本製品の電波送信について	4
・ワンセグとは	5
●各部の名称と付属品	6
●取付け	
■1 フィルムアンテナの取付け	
1. フロントビラーを外す	7
2. フィルムを剥がす	8
3. フロントガラスにフィルムアンテナを貼り付ける	8
4. フロントガラスにエレメントを残す	8
5. アンテナコードの取付け	9
6. アンテナアース部の取付け固定	9
■2 アンテナコードの固定	10
■3 リモコン受光部の取付け	10
■4 コネクター、シガープラグコードを接続する	10
■5 メインユニット設定スイッチの設定	11/12
・市販のAVケーブルを使用して取付ける場合	13
●操作方法	14
●その他	
・音量切替スイッチについて	15
・リモコンについて	15
・シガープラグコードのヒューズについて	16
・製品仕様	16
●故障かな?と思ったら	17
●チャンネル一覧	18
●保証規定	19
●保証書	裏面



ご使用上の注意

ご使用の前にこの取扱説明書をよくお読みのうえ、正しくお使いください。お読みになったあととはいつでも見られるところに必ず保管してください。注意事項には危害や損害の大きさを明確にする為に誤った取扱をすると生じる、または想定される内容を「警告」、「注意」の2つに区分しています。

⚠ 警告 この表示を無視して誤った取扱をすると、人が死亡または重症を負う可能性が想定される内容であることを示しています。

⚠ 注意 この表示を無視して誤った取扱をすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容、および物的損害のみの発生が想定される内容であることを示しています。

⚠ 警告

- 本製品を前方の視界を妨げる場所やハンドル、シフトレバー、ブレーキペダル等の運転操作を妨げる場所など運転に支障をきたす場所、または同乗者に危険を及ぼす場所には取付けをしないでください。
- 車体に穴を開けて本製品を取付ける場合は、燃料タンク、電気配線などの位置を確認の上、これらと干渉や接触することがないように注意してください。
- 本製品取付け作業中はバッテリーのマイナス端子を外してください。
- エアバックが装着されている車両に取付ける場合は、絶対にエアバックのカバー部および作動時の妨げになるような場所には取付け、または配線をしないでください。
- 配線類は運転の妨げとならないようにまとめ収納してください。
- 本製品の電源線から他の機器の電源を取ることは絶対にしないでください。
- 本製品取付け完了後、全ての車両電装品（ブレーキランプ、ライト、ホーンなど）が正しく作動するのをお確かめください。
- 本製品は 12V 専用です 24V 車には使用しないでください。
- 本製品を分解したり改造しないでください。
- 配線は高温部を避けて行ってください。
- 画面が映らない、音声が出ないなど本体の故障が考えられる場合はその状態で使用しないでください。
- 本製品（各パーツ）に異物が入ったり、水や飲み物がかかったり煙がでる、変なにおいがするなど異常が起きましたら、直ちに使用を中止し必ずお買い上げ販売店にご相談ください。
- 危険ですので運転しながら本製品の使用、操作はしないでください。
- 運転者が本製品でテレビ等を見る場合は必ず安全な場所に車を停車させてください。

⚠ 注意

- 本製品は必ず取扱説明書にしたがって正しく取付け、使用してください。
- 本製品の取付けには専門知識、技術、経験が必要です。必ずお買い上げの販売店またはカーディーラーに取付けを依頼してください。お客様ご自身で取付けられた場合は保障は受けられません。
- 付属の部品は取扱説明書通りに使用してください。その他の目的で使用しないでください。
- 本製品を雨が吹き込むところや水のかかるところ湿気やホコリの多いところへの取付けは避けてください。
- 本製品をカーペットの下など熱のこもるところへの取付けは避けてください。
- 本製品を振動の多い場所、しっかり固定できない場所には取付けをしないでください。
- 配線を車両のシートレール等の可動部にはさみ込まないように注意して配線を行ってください。
- 本製品を使用する際は音量が車外の音が聞こえる程度でご使用ください。
- 本製品は車載専用です。車載以外では使用しないでください。
- 本製品は日本国内でのみ使用できます。海外では使用できません。
- 取付け方法、取付け車両により工具が必要になる場合があります。
- 本製品は車両のシガープラグ（ACC）電源を使用しています。エンジンキーをOFFにしてもシガープラグの電圧がOVにならない車両（外車など）はエンジンを始動していない時はバッテリーを保護する為、エンジン停止状態ではシガーコードを抜いて使用するか弊社オプション「SS-063 電源配線ユニット」で車両イグニッション電源（エンジンキーをOFFでOVになる線）に配線を行ってください。
- 本製品は4：3のテレビ（ナビゲーション、モニター等含む）で使用する場合は放送番組に関係なく画像が縦に伸びたような表示になります。

◆デジタル放送について（ワンセグ放送）

- 地上デジタル放送では受信状態が悪くなると、映像にブロックノイズが出たり、音かとぎれたり、静止画面、黒画面となり音声が出なくなることがあります。
- 車で移動して受信するため、家庭用デジタルテレビチューナーに比べて受信エリアが狭くなります。また、車の周辺環境などにより受信状態が変化します。
- 本機の受信周波数帯域に妨害を与える電子機器や無線利用機器など（パソコンや携帯電話など）を車内で使用したり、本機や地上デジタル放送用アンテナやアンテナコードに近づけると、映像にブロックノイズが出たり、音かとぎれたり、静止画面、黒画面となり音声が出なくなる場合があります。それらの機器の使用を中止するか、本機から離してご使用ください。

次のページ→

ご使用上の注意

◆デジタル放送について（ワンセグ放送） つづき

- 電車の架線、高圧線、ラジオ・テレビ放送の送信所、無線送信所、ネオンサインなどの放送機器の近くで受信すると、映像・音声が乱れたり雑音が入る場合があります。
- 地域、天候により電波の受信状況が変わる場合があります。
- 障害物などの影響により放送エリアでも受信できない場合があります。
- 車の走行速度によっては映像・音声が乱れたり、受信できなくなる場合があります。また、停車中でも周囲の車の動き等により受信状態が悪くなり、映像・音声が乱れる場合があります。
- 受信状態が弱い場合、パワーウィンドウ、ワイパー、電動ミラー、エアコンファンなどの車両電装品を作動させると、映像にブロックノイズが出たり、音がとぎれたり、静止画面、黒画面となり音が出なくなることがあります。

◆本製品の電波送信について

- 本製品は UHF 帯の 45/46/47/48ch を使用して映像、音声をテレビに送信しています。ご使用する環境によっては電波干渉で映像や音声が乱れたり、全く映像が映らない場合があります。その場合はチャンネル設定を変更したり場所を移動するか、市販の AV ケーブルを使用して直接本製品とテレビを接続してください。
- 本製品を使用中、電波干渉により車内の電波を使用する電装品（携帯電話、ラジオ、FM トランスミッター等）にノイズ等が発生する場合がありますので本製品を使用しない時は必ずリモコンで電源を OFF にしてください。
- 本製品使用中は近くにいる他の車両でもテレビのチャンネルを合わせると映像を受信することがあります。また他の車両からの同一チャンネルによる送信があった場合は画像が乱れたり、選局したチャンネル以外の画像が映ることがありますが故障ではありません。
- 本製品は現在 4ch を選択し送信できますが将来、搭載している 4ch 全てに他のテレビ放送電波が割り当てられた場合は本製品の電波による送信は使用できなくなりますのでご了承ください。
- 一部の純正テレビ、カーナビでは正常に受信できない場合があります。カーディーラーにお問い合わせください。
- 車両によっては車両ノイズにより映像が乱れる場合がありますが本製品の故障ではありません。

本製品はステレオ音声放送の番組でも電波で音声を送信することによりモノラル音声放送になります。

◆ワンセグとは・・・

地上デジタル放送は、現行の地上アナログ放送がデジタル化された放送で、2003年12月から東京・名古屋・大阪を中心とする関東・東海・関西の一部で開始された放送です（その他の地域では2006年末までに放送が開始される予定）。データ放送を利用することもできます。また、地上デジタル放送の電波の一部を使用して携帯電話などの小型機器でもご家庭と同じようにテレビやデータ放送を見ることが出来る地上デジタル放送の携帯・移動体向けサービス「ワンセグ」があります。地上デジタル放送の携帯・移動体向けサービス「ワンセグ」とは地上デジタル放送の電波の約6MHzの帯域を13個のセグメントに分割し、その1つのセグメントを利用して放送されることから、ワンセグと呼ばれるようになりました。

本機は車載用モニターやナビゲーションを利用することで、手軽に「ワンセグ」を見ることができます。なお、地上デジタル放送や「ワンセグ」は、地上アナログ放送UHF帯の電波を使用して放送されています。

本製品はデータ放送および緊急警報放送の受信には、対応しておりません。

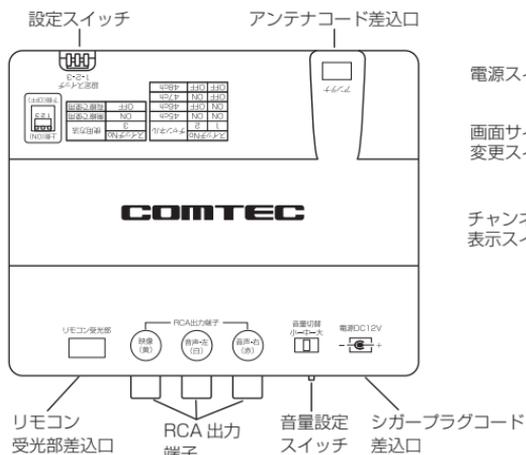
地上デジタル放送の携帯・移動体向けサービス「ワンセグ」は、2006年4月1日に東名阪およびその他一部地域より順次開始される放送サービスです。「ワンセグ」サービスの詳細については、下記ホームページなどでご確認ください。

社団法人地上デジタル放送推進協会

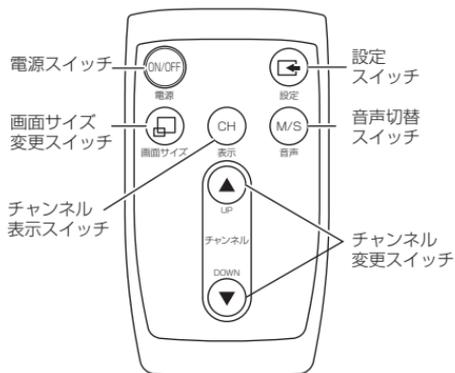
<http://www.d-pa.org/>

各部の名称と付属品

◇メインユニット (1個)

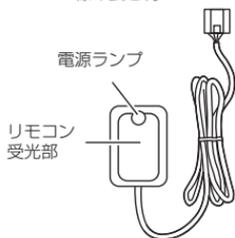


◇リモコン (1個)



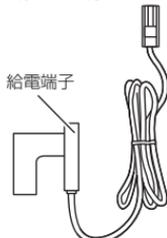
◇リモコン受光部 (1個)

※線の長さ約 2m



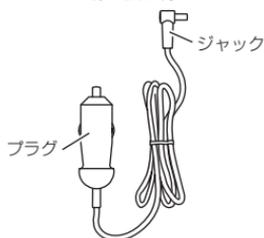
◇アンテナコード (1個)

※線の長さ約 5m

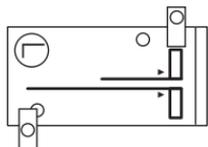


◇シガープラグコード (1個)

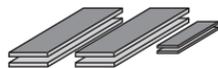
※線の長さ約 2.5m



◇フィルムアンテナ (1枚)



◇マジックテープセット (大2枚/小1枚)



大・・・メインユニット固定用
小・・・リモコン固定用

◇固定テープ (1個)



◇クリーナー (1個)



◇コードクランプ (3個)



◇両面テープ (1個)

※リモコン受光部固定用



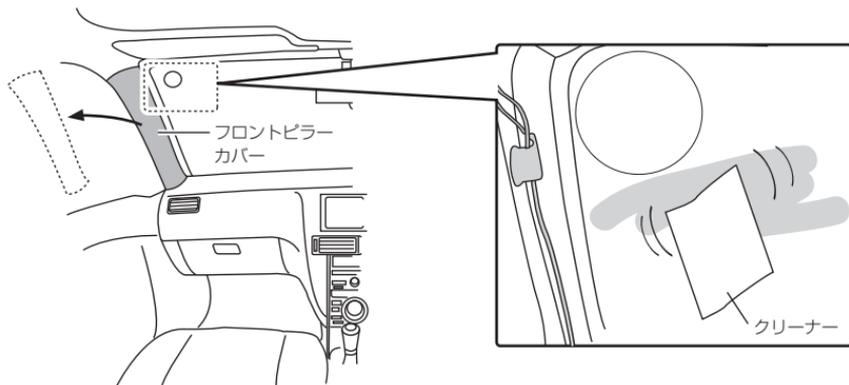
◇フィルムアンテナを取付ける前に必ずお読みください。

- 配線をする為にはフロントピラーを一時的に取り外す必要があります。
- 車種によって、取付けられない場合があります。販売店にご相談ください。
- 熱線反射ガラスや断熱ガラス、電波不透過ガラスなど電波を通さないガラスを使用している車種の場合には受信感度が極端に低下します。
- ピラーにフロントエアバックを搭載している車には取付けることができません。
- 必ずフロントウィンドウの指定の位置に取付けを行ってください。
- 車検適合させる為にと取付方法をよくお読みのうえ、正しく取り付けてください。誤った取付けをすると車検不適合と判断され不合格になる場合があります。
- 本製品はフロントウィンドウ専用です。それ以外の場所にと取付けをしないでください。受信感度が低下します。
- アンテナの表面保護用ビニールを剥がしたあと、アンテナ貼付面には手をふれないでください。指紋やゴミが付着し粘着力が弱くなります。
- 必ずケーブルおよびフィルムアンテナ、ケーブルの引き回し等を十分に検討してから取付けを行ってください。一度貼り付けると、貼り直しできません
- 左ハンドル車にと取付ける場合も下記取付けにしたがって取付けを行ってください。
- 他のアンテナを取付けている場合、電波干渉を防ぐため他のアンテナから本製品のフィルムアンテナを10cm～15cm程度離して取付けてください。
- フィルムアンテナは、点検整備済ステッカー・検査標章などと重ならないように貼り付けてください。
- フィルムアンテナは、フロントウィンドウの車内側にとり付けてください

1 フィルムアンテナの取付け

1. フロントピラーを外す

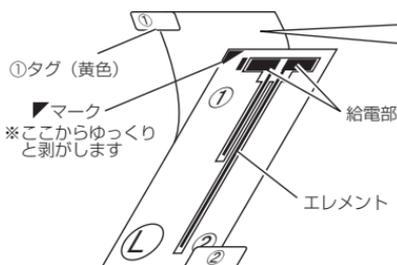
フロントウィンドウ横のフロントピラー（左）カバーを外します。
付属のクリーナーでフィルムアンテナの貼り付け面を綺麗に拭きます。



取付け

2. フィルムを剥がす

①のタグ（黄色）を持ってフィルムの ▼ マークからゆっくりと①タグ側フィルムを剥がします。



● エレメントが①のタグ側フィルムに残らないように剥がしてください。
もし①のタグ側にエレメントが残った場合は元に戻してエレメント上を強くこすり再度①のタグ側フィルムを剥がしてください。

ポイント

3. フロントガラスにフィルムアンテナを貼り付ける

車内から㉔ ① ② の文字が下記図のように読めるようフロントガラスにフィルムを貼り付けます。貼り付ける時にフィルムに気泡が入らないように注意してください。



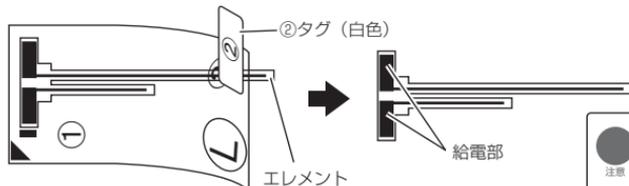
● フィルムアンテナを一度貼り付けると貼り直しできませんので注意してください。

● フロントガラスのフチにあるセラミックライン部には貼らないでください。
またフロントガラスに他のアンテナ（TV、GPS等）がある場合は15cm～30cmぐらい離して貼ってください。

セラミックラインとは・・・
ウィンドウ端の黒い部分または黒い点々の箇所

4. フロントガラスにエレメントを残す

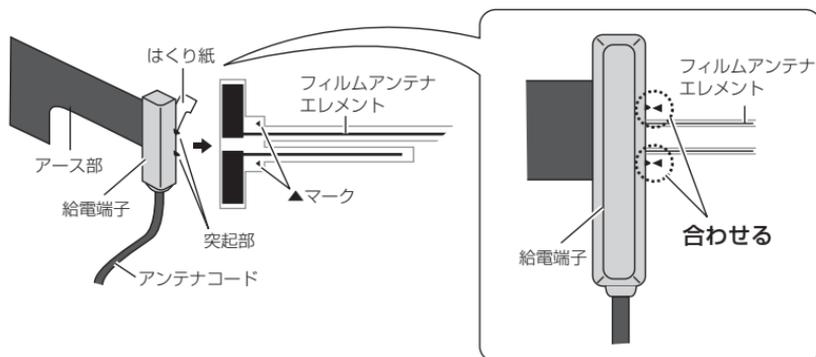
②タグを持ってゆっくりとエレメント部分がガラスに残るように剥がします。



● 取付け後は給電部に触れないでください。受信性能に影響がでる恐れがあります。

5. アンテナコードの取付け

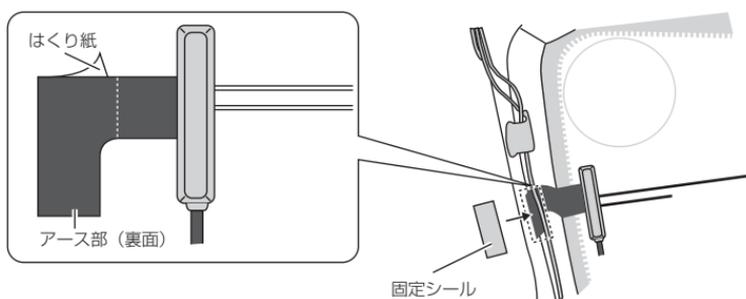
給電端子のはくり紙を剥がしてフィルムアンテナエレメント部▲マークと給電端子の先端の突起部を合わせて取付けます。



6. アンテナアース部の取付け固定

アンテナコードのアース部のはくり紙を剥がして車体の金属部へ車体に沿ってアース部を貼り付けます。

貼り付け後、アース部が剥がれないように付属の固定シールでアース部を固定します。



車体金属部の塗装を削る必要はありません。ただし金属面の接触が不十分だと受信性能が低下する恐れがありますので注意してください。

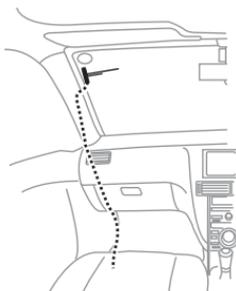
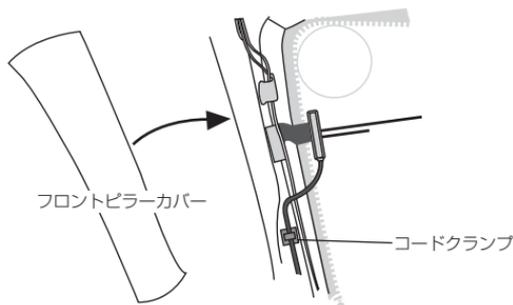
注意

取付け

2 アンテナコードの固定

アンテナコードを付属コードクランプで固定し配線をはさまないように、外したフロントピラーカバーを元に戻します。

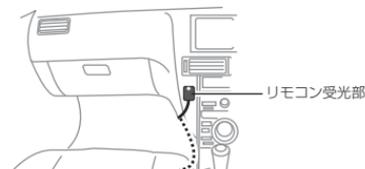
アンテナコードをメインユニット取付位置まで配線します。



例：シート下にメインユニットを取付ける場合
シート下まで配線を伸ばします。

3 リモコン受光部の取付け

付属クリーナーで取付けする場所の汚れを拭き取り、付属の両面テープでリモコン受光部を取付けます。必要に応じてコードクランプを使用してメインユニット取付位置までリモコン受光部のコードを配線します。

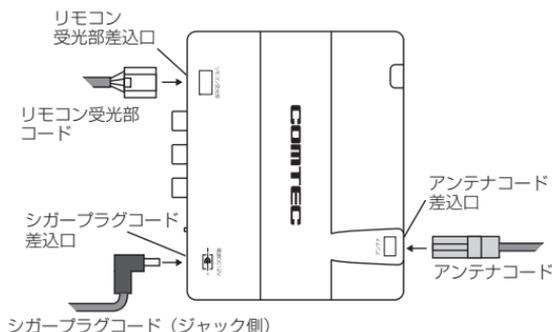


例：シート下にメインユニットを取付ける場合
シート下まで配線を伸ばします。

4 コネクター、シガープラグコードを接続する

各配線のコネクターを下記図のように指定の場所にメインユニットに接続します。

シガープラグコードのジャック側をメインユニットに、プラグ側を車のシガープラグに接続します。



5 メインユニット設定スイッチの設定

◇配線をせず無線で映像、音声を飛ばす場合の設定を行います。

市販の AV ケーブルを使用して直接配線をする場合は P13 からお読みください。

1 メインユニットのスイッチ3番を ON (上側) にします。



スイッチNo	使用方法
3	
ON	無線で使用
OFF	有線で使用

2 メインユニットから送信するチャンネル (テレビで受信するチャンネル) を設定スイッチ (P6) で設定します。

例: 47ch に設定



スイッチNo		チャンネル
1	2	
ON	ON	48ch
ON	OFF	47ch
OFF	ON	46ch
OFF	OFF	45ch

3 車のエンジンを始動し、停車した状態で車のテレビチャンネルを 2 で設定したチャンネルに設定します。

例: 47ch に設定



- ・チャンネルの設定は各テレビの取扱説明書をお読みください。
- ・チャンネルを合わせてもノイズ画面になります。(表示される画面は使用する場所により異なります)

4 リモコンで電源スイッチを押し電源を ON (リモコン受光部の電源ランプ点灯) すると画面からノイズがなくなり何らかの画面が表示されます。



※使用する場所、状態によって表示は異なります。

取付け

5 リモコンの設定スイッチを**長押し**してチャンネル設定を行います。



・受信できるチャンネルを検索します。
※数十秒時間がかかります。

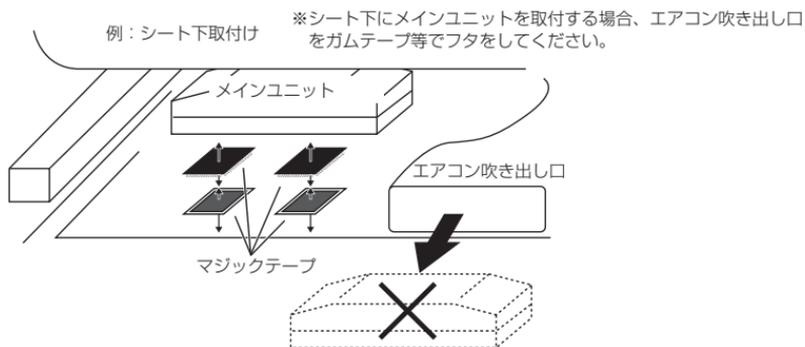


・受信できたチャンネルを表示してメモリーします。



- ・必ず停車し見晴らしの良い場所で行ってください。
- ・設定中はエンジンを切らないでください。
- ・希望するチャンネルが受信できない場合は移動して再度設定を行うと受信できる場合があります。
- ・同じチャンネルを受信した場合はチャンネル番号の後ろに「B」の文字が表示されます。

6 アンテナコード、シガープラグコード、リモコン受光部コードなどコード類を車の運転の邪魔にならないようにまとめ、付属のマジックテープでメインユニットを固定します。



- ・シート下、グローブBOX裏等にメインユニットを固定した場合、エアコン吹き出し口に取付けない様に注意してください。
- ・取付ける場所（ファンモーターの近く等）によっては車両ノイズの影響を受ける場合があります。その場合はメインユニットの取付ける場所を変更してください。

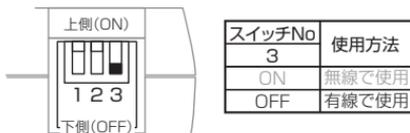
取付け、設定を完了しました。P14「操作方法」を読んでご使用ください。

◆市販 AV ケーブルを使用して取付ける場合

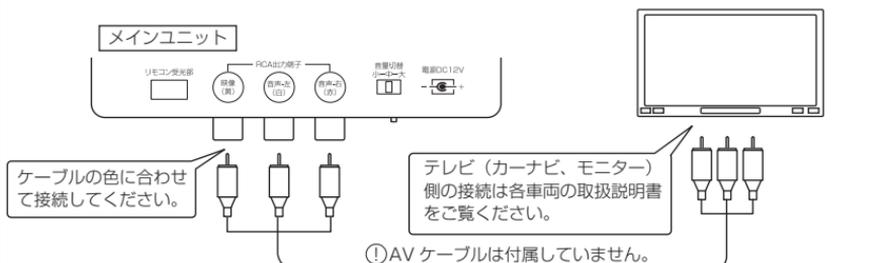
市販の AV ケーブルを使用して映像、音声を出力する設定をします。

本製品には AV ケーブルは付属していません。お客様でご用意ください。

- 1** メインユニットのスイッチ3番を OFF (下側) にします。



- 2** 市販 (別売) の AV ケーブルでメインユニットとテレビ (カーナビ、モニター等) を接続します。



AV ケーブルをメインユニットの RCA 出力端子に接続した状態では無線での使用ができなくなります。

- 3** リモコン電源ボタンで電源を ON (リモコン受光部の電源ランプ点灯) にしてテレビ (カーナビ、モニター等) を RCA からの入力画像を見れる状態にします。



テレビ側の切替については各テレビの説明書をご覧ください。

取扱説明書 P12 **5** へ続く

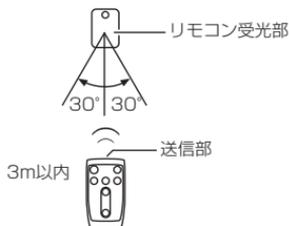
操作方法

- 操作は全て付属のリモコンで行います。



ポイント

リモコンの使用範囲はリモコン受光部から水平左右約30度、直線距離約3m以内です。リモコンとリモコン受光部の間に障害物があると操作できない場合があります



①電源スイッチ

電源スイッチで電源の ON/OFF ができます。電源 ON の時はリモコン受光部の電源ランプ (P6) が点灯します。

※使用していない時は必ず電源を OFF にしてください。

②設定スイッチ (長押し)

地域によってチャンネル (放送局) が異なる為、現在の場所の受信できる放送局をサーチして本体にメモリーします。取付けした時、移動により放送局が変更した時に操作を行ってください。

スイッチを長押しすると数十秒間スキャン状態になり受信できたチャンネルを順番に表示します。「スキャン完了」表示で完了し番組を表示します。

❗必ず停車、駐車状態で行ってください。

❗場所により受信できないチャンネルがあります。周囲に何も無い見晴らしの良い場所で行ってください。

③チャンネル変更スイッチ

メモリーした (②設定スイッチで) チャンネルを順番に変更します。▲(UP) で番号の低いチャンネルから番号の高い順番に変わります。▼(DOWN) で逆の移動をします。

④画面サイズ変更スイッチ

表示している画面を約 80%のサイズに小さくして表示します。

スイッチを押すたびに画面サイズが変更します。

⑤音声切替スイッチ

番組の音声を変更します。※対応番組のみです

スイッチを押すたびに「主音 1」→「副音 1」→「主音 1 + 副音 1」→「消音」に変更します。

⑥チャンネル表示スイッチ

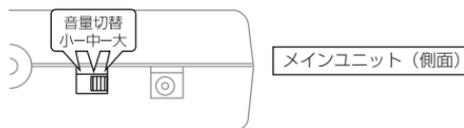
表示画面右上にチャンネル表示、音声表示をすることができます。

スイッチを押すたびに「チャンネル + 音声表示」→「チャンネル表示」→「表示なし」に変更します。

◆音量切替スイッチについて

オーディオの音量と本製品を使用した時の音量に差がある場合に、音量レベルを調整することができます。

音量切替スイッチで基準の音量を設定してください

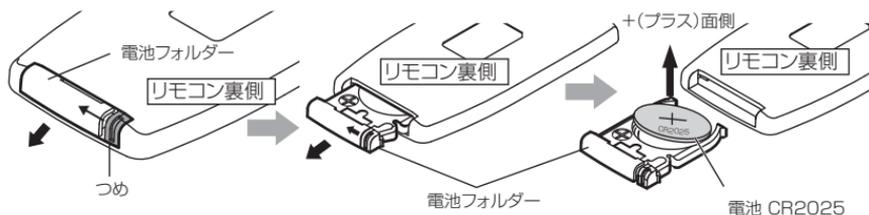


◆リモコンについて

●電池交換方法

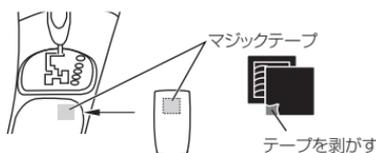
リモコン電池フォルダーのつめを内側に押して、電池フォルダーを抜きます。古い電池を取り新しい電池と入れ替え、電池フォルダーをリモコンに入れます。

※必ず電池の+(プラス)面が図のようになるように入れて下さい。



●リモコンの固定

リモコンを使いやすいように付属のマジックテープ(リモコン用)で固定することができます。



- ・リモコンを紛失した場合は販売店でリモコンをご購入下さい。リモコン型式名「RRE-X715」
- ・指定以外 (CR2025を1枚) の電池を使用しないでください。
- ・落としたり、衝撃を与えないでください。
- ・リモコンは防水ではありませんので水をかけたり、ぬれたものの上に置かないでください。
- ・分解しないでください。
- ・高温になる場所、直接日の当たる場所等に置かないでください。

● 注意